

2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月14日

上場会社名 アイビーシー株式会社
 コード番号 3920 URL <http://www.ibc21.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 小田 成
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス本部長 (氏名) 松本 一彦 TEL 03-5117-2780
 半期報告書提出予定日 2026年5月14日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	1,092	1.8	229	△9.0	233	△10.9	160	△13.3
2025年9月期中間期	1,073	—	252	—	262	—	184	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	28.83	—
2025年9月期中間期	33.39	33.22

（参考）持分法投資損益 2026年9月期中間期 14百万円 2025年9月期中間期 10百万円

（注）2024年9月期中間期は連結業績を開示しておりましたが、2025年9月期第1四半期より非連結決算に移行しました。そのため、2025年9月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	3,808	2,407	63.2
2025年9月期	3,739	2,273	60.8

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 2,407百万円 2025年9月期 2,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2026年9月期	—	11.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	12.3	630	11.5	620	7.9	430	4.7	77.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 中間期財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2026年9月期中間期	5,751,600株	2025年9月期	5,751,600株
2026年9月期中間期	194,159株	2025年9月期	194,159株
2026年9月期中間期	5,557,441株	2025年9月期中間期	5,532,815株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会について)

当社は、決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。また、2026年5月21日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(持分法損益等の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間の業績は、売上高1,092,796千円、営業利益229,591千円、経常利益233,853千円、中間純利益160,213千円となりました。第2四半期(累計)業績予想との比較においては、営業利益、経常利益及び中間純利益において予想を上回る実績を確保しており、収益性の高い事業構造が着実に機能しております。

当社のコア事業であるライセンス売上(自社開発運用管理ソフトウェア「System Answer」シリーズ)は、656,297千円(前年同期比9.6%増)と計画を上回る伸長を示しました。これは、既存顧客において高水準の契約更新率を維持するとともに、他社システムからの切替え等による新規契約の獲得が順調に進展したことによるものであり、ストック型ビジネスの基盤強化が一層進んでおります。

サービス売上(運用管理サービス、セキュリティサービス、ネットワーク関連サービス等)は271,625千円(前年同期比11.8%減)となり、計画通りの進捗となりました。近年のサイバー攻撃対策ニーズの高まりを背景に、セキュリティアセスメントサービスへの需要は引き続き堅調であり、新たな収益源としての存在感を着実に高めております。なお、前年同期比での減少は、大規模ネットワーク案件の一部が下半期に延伸されたことによるものであり、今後の業績への寄与が見込まれております。

その他物販等につきましては164,873千円(前年同期比1.3%減)となりました。

当社は「IT障害をゼロにする」というミッションのもと、引き続きライセンス販売を中核としたストック型ビジネスの拡充を推進するとともに、DX・AI・セキュリティといった成長分野における需要を確実に捉えることで、ITシステムのライフサイクル全体を支える各種サービスの提供を通じ、安定的な収益基盤の構築と中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

また、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置付けており、前事業年度の有価証券報告書に記載のとおり、累進配当方針に基づく安定的かつ継続的な利益還元を今後も継続する方針です。

なお、当社はソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態の概況

①財政状態

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は、3,808,100千円(前事業年度末は3,739,294千円)となり、68,805千円増加しました。これは主に、現金及び預金が70,288千円、棚卸資産が113,105千円、ソフトウェアが69,008千円増加した一方で、売掛金が206,889千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は、1,400,245千円(前事業年度末は1,466,218千円)となり、65,973千円減少しました。これは主に、未払金が48,502千円、未払法人税等が52,591千円、未払消費税等が39,919千円、それぞれ減少した一方で、買掛金が102,176千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、2,407,854千円(前事業年度末は2,273,076千円)となり、134,778千円増加しました。これは主に、利益剰余金が126,869千円、その他有価証券評価差額金が7,909千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、2,484,422千円となり、前事業年度末に比べ70,288千円増加しました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、225,989千円の収入となりました。この主な要因は、税引前中間純利益233,853千円及び売上債権の減少206,889千円により資金が増加した一方で、棚卸資産の増加113,105千円、未払金の減少42,975千円、法人税等の支払123,867千円によりそれぞれ資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、112,047千円の支出となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出73,383千円及び保険積立金の積立による支出13,231千円により資金が減少したことによるものであり

ます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、43,653千円の支出となりました。この主な要因は、配当金の支払による支出43,185千円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期通期業績の期初予想は、過去最高売上、最高利益としておりましたが、さらに上回る見通しとなりました。第2四半期(累計)実績ではライセンス売上増に伴う営業利益増となり、下半期の営業利益は当初予想通りを見込んでおり、通期の営業利益は前回予想を20百万円上回る630百万円(前回公表比3.3%増)といたします。経常利益、当期純利益については、営業利益の増加により、経常利益は前回予想を12百万円上回る620百万円(前回公表比2.0%増)、当期純利益は前回予想を12百万円上回る430百万円(前回公表比2.9%増)となる見込みです。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,414,134	2,484,422
売掛金	548,680	341,790
棚卸資産	33,800	146,906
前払費用	27,615	23,397
その他	9,613	18,553
流動資産合計	3,033,844	3,015,070
固定資産		
有形固定資産	77,003	73,339
無形固定資産		
ソフトウェア	29,941	98,949
ソフトウェア仮勘定	91,181	70,677
無形固定資産合計	121,122	169,626
投資その他の資産		
投資有価証券	176,324	187,874
関係会社株式	43,301	43,301
保険積立金	189,399	207,821
繰延税金資産	17,005	13,364
その他	81,293	97,700
投資その他の資産合計	507,323	550,062
固定資産合計	705,449	793,029
資産合計	3,739,294	3,808,100
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,134	225,310
短期借入金	800,000	800,000
未払金	101,980	53,478
未払費用	87,771	73,118
未払法人税等	136,141	83,549
未払消費税等	42,430	2,510
契約負債	110,449	106,938
リース債務	938	943
その他	17,644	8,773
流動負債合計	1,420,490	1,354,623
固定負債		
リース債務	552	79
資産除去債務	45,175	45,542
固定負債合計	45,728	45,622
負債合計	1,466,218	1,400,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	447,430	447,430
資本剰余金	443,152	443,152
利益剰余金	1,576,723	1,703,592
自己株式	△221,114	△221,114
株主資本合計	2,246,191	2,373,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,884	34,794
評価・換算差額等合計	26,884	34,794
純資産合計	2,273,076	2,407,854
負債純資産合計	3,739,294	3,808,100

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,073,457	1,092,796
売上原価	217,152	236,335
売上総利益	856,304	856,460
販売費及び一般管理費	603,880	626,869
営業利益	252,424	229,591
営業外収益		
補助金収入	12,500	2,761
保険配当金	-	5,190
受取手数料	505	-
その他	102	464
営業外収益合計	13,108	8,415
営業外費用		
支払利息	3,137	4,154
営業外費用合計	3,137	4,154
経常利益	262,394	233,853
特別利益		
関係会社清算益	2,788	-
特別利益合計	2,788	-
税引前中間純利益	265,182	233,853
法人税等	80,441	73,639
中間純利益	184,741	160,213

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	265,182	233,853
減価償却費	18,311	25,769
支払利息	3,137	4,154
売上債権の増減額 (△は増加)	149,663	206,889
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,604	△113,105
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41,832	102,176
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,371	△3,510
未払金の増減額 (△は減少)	△47,739	△42,975
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,540	△32,714
預け金の増減額 (△は増加)	10,670	△7,224
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	3,327	△2,363
その他	△7,084	△17,175
小計	329,119	353,772
利息の受取額	91	412
利息の支払額	△3,098	△4,328
法人税等の支払額	△27,174	△123,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	298,937	225,989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,176	△8,580
無形固定資産の取得による支出	△35,884	△73,383
保険積立金の積立による支出	△13,249	△13,231
会員権の取得による支出	-	△17,100
その他	-	247
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,311	△112,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,018	-
株式の発行による収入	7,200	-
配当金の支払額	△22,067	△43,185
その他	△462	△468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,348	△43,653
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	183,278	70,288
現金及び現金同等物の期首残高	1,926,216	2,414,134
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,109,494	2,484,422

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年12月20日 定時株主総会	普通株式	22,117	4	2024年9月30日	2024年12月23日	利益剰余金

2. 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年4月18日 取締役会	普通株式	33,320	6	2025年3月31日	2025年6月23日	利益剰余金

II 当中間会計期間(自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年12月19日 定時株主総会	普通株式	33,344	6	2025年9月30日	2025年12月22日	利益剰余金

2. 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2026年4月17日 取締役会	普通株式	61,131	11	2026年3月31日	2026年6月22日	利益剰余金

(持分法損益等の注記)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当中間会計期間 (2026年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	16,861千円	16,861千円
持分法を適用した場合の投資の金額	80,829千円	95,707千円

	前中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
持分法を適用した場合の投資利益の金額	10,364千円	14,877千円

(セグメント情報等の注記)

当社は、ソフトウェア・サービス関連事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。